



とおかまち ドリーム

十日町市 | 市勢要覧 | 2014

TOKAMACHI
“Dreams come true”
～元気に未来へ～

市長からの元気メッセージ | 選ばれて住み継がれる十日町市を目指して



選ばれて 住み継がれる十日町市を目指して

自然と共生する成熟した暮らしのあり方を
より多くの人たちと分かち合いたい。

自然や農としっかりと結び付いた、グリーンな色あいの中にいきいきとした生活ができるまち。それが、私が目指す将来像です。豊かな里山の文化や人々とのふれあいなど、効率を求めて日本人が忘れ去ろうとしているものを大事にする。そんな、より成熟した価値観を持ち、質の高い暮らしを求める人たちがどんどん集まってまちを創っていくという理想を追求していくことが大切だと思っています。

大地の芸術祭には、そのような思いも込められています。地域内に展示された約200点ものアート作品を道しるべに、里山を巡ることで地域の魅力を感じてもらおう。このような手法での地域おこしは他にはありません。2000年からの妻有地域でのこの取組みにより、多くの効果が表れています。その一つが芸術祭をサポートする「こへび隊」の存在です。この活躍に揺り動かされ、各地域では市外の若者を受け入れる体制ができ、共に芸術祭を作り、楽しむようになってきました。

その土壌があつて、現在、高齢化の進む中山間地域集落の活性化のためにがんばっている、地域おこし協力隊の活動も根付いています。加えて市内ではNPO法人やまちづくり団体も多く組織さ

に支援することで、いずれは株式の上場や世界的に躍進する企業の誕生を夢見しています。そして、三つ目は、市民が心豊かで安心できる生活が送れるよう、医療・救急体制の整備や防災対策、克雪対策の充実を図るなど、「安全・安心なまちづくり」を進めています。そして、これら三つのまちづくりを実現させるために、知恵を生み出し自らの努力で財源を作り出す「市役所改革・行財政改革」に取り組んでいます。

れ、互いに結び付きながら活動するなど、多くの力や感性が引き出され、まちづくりに生かされています。

そのような市民の皆さまのがんばりを、私は積極的に支援し、活躍できる場を作っていきます。

そのために、私は4つの重点方針を定めてまちづくりを進めています。一つ目は、「人にやさしいまちづくり」です。高齢者を敬いつつ、弱い方々を守るため、県内でもトップクラスの施策を実施しています。また、次代を担う子どもたちに創造性ある将来を築いてもらうために、質の高い教育の場を提供し、夢の実現を応援しています。二つ目は、「活力ある元気なまちづくり」です。地域の活力向上のためには、市内へ切れ目なく人の流れをつくることや雇用を生み出すことが不可欠です。市内のさまざまな魅力を引き出して、十日町市を売り込むとともに、市内でがんばる企業の設備投資を積極的

人口減少社会にあつて、その対策は急務です。そのために、十日町市を大切に思ってくれる人との強いネットワークを築いて、しっかりととしたメッセージを送ることが私の役割であり、そのことで十日町市ファンを増やしていきます。

私の市政運営の信念である「選ばれて住み継がれる十日町市」を目指して、チャレンジする十日町市にぜひ注目ください。

Greetings from the mayor

We wish to share a rich and mature way of life in the great nature with as many friends as possible.

Yoshifumi Sekiguchi, Mayor, Tokamachi City

A city where one can lead a vivid life in greenery, which is firmly connected to nature and agriculture; a city that places importance on things that the Japanese people are forgetting in pursuit of efficiency, such as, the rich culture of the countryside and the close ties with in a community. That is the image of the future that I aim for. I believe it is important for people who have a more mature set of values, who are seeking a higher quality of life to come together and create a city.

In Tokamachi, multitude of abilities and sensibilities have been brought out and utilised, as "community-reactivating cooperator squad", NPOs, and organisations committed to developing the city work together in collaboration. I shall definitely support the efforts of such citizens and create an arena for their activities.

For that purpose, I am working on making the city of "people-friendly", "vital and energetic", and "safe and secure", with "administrative and fiscal reforms". The reforms will create wisdom and fiscal resources to make our city better. These make our four important policies for the city.

Measures call for urgent attention in a depopulating society. For this reason, it is my duty to build a strong network with those who value Tokamachi and through them create more fans of our city.

Be sure to follow up on Tokamachi, which continues to take on challenges in pursuit of becoming "a city where is chosen by people and inherited to live forever."

市長致辞

与更多的人分享与自然共生的成熟生活方式。

十日町市長 関口 芳史

我要把未来的十日町市建成一座与自然和农业紧密结合，居民愉快生活在绿色之中的城市。日本人在一味追求效率的过程中，逐渐淡忘了丰富的山村文化、人与人的密切联系等非常宝贵的东西，但是现在有很多人开始意识到这些优良传统的重要性了。我们的工作重点就是要让这些具有非常成熟的价值观、追求高品质生活的人不断地汇集到十日町市，并积极参与到城市建设中来。

在十日町市，地区振兴协力队、NPO法人、城市建设团体等组织相互紧密配合，开展了各种丰富多彩的活动，人们的力量和感性也通过这些活动而获得激发，在城市建设中发挥出了应有的作用。

我准备积极支援居民们的各项努力，为他们能够充分施展才能提供一个良好的环境。

为此，我制定出了“建设人性化城市”、“建设充满活力和朝气的城市”、“建设安全安心城市”的方针。为了实现这三个城建方针，又制定出了发挥自身才智和努力创造财源的“市政府改革、行财政改革”的方针。我们将以这4个方针为重点，推进城市建设。

如何解决人口减少的问题是我们当前的紧迫任务。为此，作为一项工作，我准备与热爱十日町市的人们建立起一条行之有效的沟通渠道，通过强有力的宣传活动，增加十日町市的粉丝。

为了实现我的市政工作信念——“让十日町市成为人们向往居住的城市”，请大家一定关注挑战中的十日町市。

十日町市長
関口 芳史



- 0 市長からの元気メッセージ
「選ばれて住み継がれる十日町市」を目指して
- 2 TOKAMACHI NOW
感じてください、十日町市のいま。
- 4 ART in TOKAMACHI
大地の芸術祭「自然との共生」を現代アートで世界に発信
- 6 特集 TOKAMACHI ~Dreams come true~
「十日町 ひと・ゆめ・みらい」
 - 1.【子どもたちと子育て世代への支援】発達支援センター「おひさま」
子どもたちのすこやかな育ちを応援する夢の学校にしたい。
 - 2.【産業振興・モノづくり】株式会社スタックス
品質と信頼で業務を広げて全国の市場で活躍するのが夢。
 - 3.【農業の振興・伝統野菜のブランド化】城之古青菜生産組合
先人たちがつなげてくれた農の伝統を未来へと守り続けます。
 - 4.【まちづくり・地域づくり】NPO法人十日町地域おこし実行委員会・NPO法人にぎわい「まちなか」も「山間地」も元気に未来へ。
- 14 Made in TOKAMACHI 13「十日町市の名物コレクション13」
ふるさとの香りがする名物が勢揃い!
- 16 とおかまち流まちづくり
 - 1.人にやさしいまちづくり【子育て支援・健康・福祉対策】
「人と人の絆の大切さを心に刻んで」
 - 2.活力ある元気なまちづくり【観光・交流】
「怒涛の人の流れを生む交流都市を目指して」
活力ある元気なまちづくり【文化・スポーツ】
「文化とスポーツで全国へ世界へ発信」
活力ある元気なまちづくり【産業】
「十日町市のポテンシャルを最大限生かして」
 - 3.安全・安心なまちづくり【生活・医療・環境】
「みんなの笑顔を支えていくために」
 - 4.まちづくりの実現のために【行財政改革・協働のまちづくり】
「すべては市民のために」
- 28 International Exchange of TOKAMACHI CITY
国際交流 of 十日町市
◎姉妹都市提携/イタリア コモ市 ◎サッカー交流/クロアチア ◎日豪交流/オーストラリア
- 29 五千年のときを越えて、新たな未来へ。
国宝・火焰型土器



地域の魅力は、そこに暮らす人たちがつくり出します。つまり、地域の最大の魅力は「人」です。夢を持った人たちが集まり、いきいきと暮らすことで、魅力的な地域は生まれます。十日町市は、自然と共存しながら営んだ文化と人々の温もりがあふれるまち。そんな素敵なまちに住む、素敵な人たちの素敵な笑顔が、十日町市の一番の宝物です。そして十日町市は、一人ひとりの笑顔の向こうにある、未来、夢、希望を守り育むまちです。さらに、市民、企業、行政が協働して地域に新しい活力をつくることで郷土愛を深め、それを外へと発信することで十日町市のファンを増やし、誇りを持って「夢かがやくまち十日町市」をつくっていきます。

四季折々の自然と大地の恵みにあふれたこのまちで、市民

が主役のまちづくりがはじまっています。

感じてください、

十日町市のいま。



市民一人ひとりが活躍できるこのまちが好きです。



Present-day Tokamachi

Feel it; present-day Tokamachi.

Filled with the bounty of nature in all four seasons, the creation of this city by each citizen has begun.

Tokamachi is a place filled with culture that has been created in coexistence with nature and the warmth of its people. The beautiful smiles of the wonderful people living in such a lovely city are Tokamachi's greatest treasure. We also believe it is important to protect and nurture the future of the dreams and hopes that lie at the heart of those smiles. By creating new attractive traits in the region with the cooperation of the citizens, businesses, and the local government, we hope to increase the number of fans of Tokamachi and deepen the love for the city. By combining all of these efforts, we wish to develop "Tokamachi City: where dreams shine".

体验十日町市的现在。

四季景色优美、自然资源丰富。居民积极投身城市建设。

十日町市是一座与自然共生，充满文化气息与人情味儿的城市。在这座景观优美的城市中，居民们都拥有一颗美丽的心灵，而荡漾在他们脸上的笑容是十日町市的无价之宝。这一朵朵的笑容代表着未来、理想和希望，我们一定要精心哺育和呵护好它们。在市政建设过程中，我们将通过居民、企业与行政的协作，创造新的魅力，加深人们的乡土之爱；通过加强对外宣传，增加十日町市的粉丝数量，把十日町市建成一座人人都可以生活于此，充满“光辉理想的都市”。

「自然との共生」を

現代アートで世界に発信



大地の芸術祭冬企画「越後妻有 雪花火」Photo by Tsutomu Yamada

ART in TOKAMACHI 大地の芸術祭

アートを通じて、里山の魅力を五感で感じる、大地のミュージアム。

大地の芸術祭越後妻有アートトリエンナーレは、越後妻有地域(十日町市、津南町)の里山を舞台に3年に1度開催される世界最大級の国際芸術祭です。「人間は自然に内包される」を基本理念に、地域に内在するさまざまな価値を現代アートを媒介として掘り起こし、その魅力を高め、世界に発信し、地域再生の道筋を築いていくことを目指しています。2000年のスタート以来、2012年までに5回開催され好評を博しています。また、芸術祭開催後に地域の資源として残った作品も数多く、トリエンナーレ開催期間以外にも四季折々の里山の自然と現代アートが楽しめる「大地の芸術祭の里」として来訪者をお迎えしています。



カールステン・ヘラー「Rolling Cylinder, 2012」Photo by Osamu Nakamura



クリスチャン・ボルタンスキー+ジャン・カルマン「最後の教室」Photo by H.Kuratani



ジェームズ・タレル「光の館」Photo by Tsutomu Yamada



みかんくみ+神奈川大学曽我部研究室「下柴茅葺きの塔」



MVRDV「まつだいの農舞台」・草間彌生「花咲ける妻有」Photo by Osamu Nakamura



田島征三「鉢&田島征三・絵本と木の実の美術館」Photo by Takenori Miyamoto + Hiromi Seno



タダシ・クリスタント「カクラ・クルクル・アット・ツマリ」



2010年グッドデザイン賞受賞

「Rooots」越後妻有の名産品リデザインプロジェクト。

大地の芸術祭をきっかけに、地域の名産品と若手クリエイターの才能に光を当て、デザインで特産品に息吹を与え地域振興に結び付けようとした協働プロジェクトです。公募で選ばれたデザインは商品化され、市内をはじめ都内のホテルやインターネットでも販売しています。

ECHIGO TSUMARI ART TRIENNALE Sending out the message “symbiosis with nature” to the world through contemporary art

A Museum of the earth, where one feels art and the forest with the body.

ECHIGO TSUMARI ART TRIENNALE is the world's largest (in scale) international art festival, held in the Echigo-Tsumari region (Tokamachi City and Tsuman-machi).

Under the slogan “Humans are part of nature”, we are aiming to build the road to local regeneration by unearthing the inherent values of the region. By using art as a medium in the expansive 760 sq km site, we hope to increase those attractive traits and transmit them to the world.

大地艺术节

通过现代艺术向全世界宣传“与自然共生”的理念。

大地艺术节 越後妻有艺术节 (Echigo-Tsumari Art Triennale) 是一个举办于越後妻有地区(十日町市、津南町)的世界最大、模国际艺术节。本艺术节以“孕育于自然中的人”为理念,以760多平方公里的广袤大地为舞台,以艺术为媒介,通过发掘蕴藏于本地区内的各种价值,提高其魅力,介绍给全世界,开拓出振兴地区经济的再生之路。

妻有の素晴らしさ、作家の思いを、訪れる人たちに伝えたい。



もともと「大地の芸術祭」が好きで、毎回自分で見て回ったりバスツアーに参加したりしていました。こへび隊の人から誘いがあり、前回ツアーガイドのサポートとして参加しました。仕事は、会期中定期的に運行されるツアーにガイドとして乗車し、お客さまに妻有や作品の解説をしたり、作家の思いを伝えたりする内容です。芸術祭も次回で6回目。地域の皆さんも回を重ねることにみんなで芸術祭を盛り上げていこうという気運が高まっています。これからもたくさんの方々の皆様のお越しを心待ちにしています。

こへび隊
(大地の芸術祭サポーター)

野上朋美さん

市内水口沢在住。障害者支援施設なかまの家に勤務。2012年の第5回大地の芸術祭のツアーガイドとして参加しました。

1	2
3	4
5	

1.遊びや会話などのコミュニケーションを通して子どもの発達を促します。
2.支援会議の様子。それぞれの分野の専門職員が子どもの支援を検討します。
3.文化祭ではふれあいの丘支援学校の子どもたちが手話を指導し、十日町小学校4年生と「ピリブ」を合唱しました。4.十日町小学校とふれあいの丘支援学校との合同運動会での入場行進。中央はふれあいの丘支援学校の子どもたちです。5.十日町小学校・ふれあいの丘支援学校・発達支援センターの全景。

みんなと一緒に育つ 「夢の学校」

2013年度に誕生した「夢の学校」は、十日町小学校、市立ふれあいの丘支援学校、市発達支援センターが一緒に入った施設です。

市立ふれあいの丘支援学校は、2002年度に十日町小学校の空き教室を利用してスタートした県立小出養護学校ふれあいの丘分校を引き継ぎ、PTAや地域の大きな夢を乗せて2013年4月、市立の支援学校として開校しました。

「夢の学校」では、これまで培ってきた共生の理念に基づき、両校の児童生徒一人ひとりの個性が尊重される教育が行われています。城ヶ丘ふれあいカーニバル(運動会)や城ヶ丘ふれあいフェスティバル(文化祭)などの学校行事が合同で開催されているほか、互いに学び合う授業交流も盛んに取り組まれています。

校舎の中央部に設けられた広いスペースの「ふれあい広場」や、どの子どもにも使いやすいユニバーサルデザインのプールなど、校舎は共生教育の推進を支える施設や設備が工夫されています。



Developmental Support
Support for children and the child-rearing generation

We want to create a dream school that supports the healthy development of children.

Dr. Yasuaki Inami works as a clinical psychologist at the Ohisama Developmental Support Center in the Citizens Welfare Division of Tokamachi City. The Developmental Support Center provides support tailored to the mental and physical conditions of each pre-school child, with "developmental counseling", "training", "family support" and "courses" as the pillars of support. Through the teamwork between staff members, interaction with the staff of Tokamachi Elementary School and the staff and children of the Fureai no Oka Special Needs School, the children's growth and development are followed from pre-school to elementary school, junior high school and beyond.

**【愛护下一代、支援育儿家庭】
建设支援孩子健康成长的理想学校。**

稻见康明(Inami Yasuaki)作为一名临床心理士工作于十日町市的市民福祉部发达支援中心「太阳」。发达支援中心以「发育咨询」、「训练」、「家庭支援」、「培训」为主要工作。根据学龄前儿童的不同个性与身心状态开展支援活动。他们在开展成员间协作的基础上,积极与入住于同一建筑物内的十日町小学和交流之丘支援学校的教职员以及孩子们开展交流,并着眼于学龄前、小学、初中以及此后的各个发育阶段,为孩子们的健康成长提供各种帮助。

床心理士として、子どもたちとふれあい、家族と相談しながら、一人ひとりの個性や発達段階にあった支援や助言をしていく仕事をしています。

スタッフ間の連携はもちろん、同じ建物にある小学校と支援学校の職員や子どもたちとの交流を図りながら、就学前から小学校以降の生活も見据えて、子どもたちの成長を見守っていきたいです。そして、この取組みが3施設内だけの取組みに終わらず、市内全域、また全国に発信できるようにしていくことが私たちの使命だと考えています。

発達支援センターでは、「発達相談」「訓練」「家族支援」「研修」を支援の柱として、それぞれの子どもたちの個性や心と体の状態に合った支援をしています。

私は臨

多くの人の夢や願いが形となった学校です

地域や保護者、学校や行政の皆さんの熱い思いが実現させた「夢の学校」。教育と福祉が一体となり、早期療育・共生教育・就学支援などの取組みを行っている施設ができるという話しを聞いたときは正直驚きました。「障がいのある子ども障がいのない子ども」一つの学舎の中で、相互に学び合い認め合い、高め合う」という「共生の理念」を柱に、教員・保育士・保健師・心理士・理学療法士・作業療法士などのさまざまな専門職が結集された全国でも類を見ないこの施設で、地域の保護者の皆さんと共に子どもたちの成長を応援していきたいです。

profile

稲見 康明さん 十日町市役所 市民福祉部 発達支援センター「おひさま」臨床心理士

大学では教育心理学を専攻。このとき、子どもたちとふれあうキャンプや余暇支援のボランティアに参加。この体験の中で「心理学を生かして子どもたちとその家族を応援して行けたら」という意識に目覚めたそうです。上越教育大学大学院に進み臨床心理学を学び、2013年4月から同施設に勤めています。

乳幼児と保護者が遊びながら集団で活動を体験することができる「プレールーム」にて。

子どもたちはみな、未知の可能性を持っています。

子どもたちと子育て世代への支援
子どもたちの
すこやかな育ちを応援する
夢の学校にしたい。



1	2
3	4
5	6

1. 2011年12月、企業設置奨励条例を活用して、廃校となった旧六箇小学校の校舎を新たな製造拠点として再生しました。2. 旧体育館に最新の高性能マシンが並んでいます。標語やカーテン、時計などはそのまま残っています。3. どんなに複雑な形状にも対応可能。ステンレスやアルミ、鉄板などをコンピュータ制御のレーザーマシンで加工します。4. 図面を見ながら製品に合わせてさまざまな測定器具を使って検査を行います。5. 吉澤さん。受注業務と指示書作成と納期管理・数量チェックが主な仕事。6. 田中さん。顧客からのオーダーを受け、コンピュータ上で3Dデータを作り上げて現場に渡します。

十日町市企業設置奨励条例

企業が市内で事業を行う施設設備の設置に対して、市が支援をすることで、地域産業の振興と雇用機会の増大を図ることを目的に制定されました。企業が一定の要件を満たし条例で指定されると、課税免除・融資・助成金交付などの奨励措置が適用されます。2009年度以降21社が活用し、200人以上の雇用が生まれています。



株式会社スタックス

薄板金加工、ステンレス溶接加工を得意とし、防衛庁へ納入する電子機器の板金加工やH2ロケットに搭載される部品などの実績があるだけでなく、手作業での精度の高い仕上げ加工にも高い実績があります。創業者である星野重夫会長が上越市出身ということもあり、50年ほど前に市内下条地区に工場進出しました。現在は、神奈川県川崎本社、十日町新事業所(旧六箇小学校)、千葉県勝浦事業所の3拠点で相互補完しながら生産しています。



Industrial Development
 Industrial development • The Art of Creating
Our dream is to flourish throughout Japanese markets by expanding our work with quality and trust.

Stax Inc. is a precision sheet-metal processing company established in 1953 that has been in business for 60 years. They opened a new office in the winter of 2011 in an abandoned elementary school, which they renovated and introduced state of the art machineries. Ms. Keiko Tanaka works as the company's CAD / CAM programmer. Ms. Tanaka states, "It is easy to work here. Since my colleagues are from Tokamachi City and the surrounding areas, we understand each other". Ms. Mayumi Yoshizawa works as an office staff in the same company. Her job includes taking orders on the phone and fax, writing instructions, progress management, quantity check and shipment management.



【以实业振兴产业】
我们的理想是以质量与信誉拓展业务，让产品畅销全国。

株式会社STAX成立于1953年，是一家在精密板金加工制造方面拥有60多年历史的企业。该公司将一所废弃的小学校舍进行改造后，引进最新型设备，于2011年冬建成了一个新的分厂。田中惠子(Tanaka Keiko)是该公司的一名CAD/CAM程序员，她介绍说“同事都是居住在十日町市及其近郊的人，相互都很了解对方的性格与秉性，非常容易在一起工作”。吉泽真弓(Yoshizawa Mayumi)也是该公司的一名员工，她的工作是通过电话和传真接收接单、发指令单、管理进度、检查数量、做出厂管理等。

私には、システムを利用して加工データを作成する仕事があります。最初は事務職でプログラミングの経験がなく不安でしたが、上司や同僚からのサポートで一人前のプログラマーになりました。十日町市らしい人を思っている心を持った社員が集まっています、心が知れているので仕事がいやらしいです。(田中さん)

種類は大小約1600アイテムにもなるので大変ですが、間違いないように正確に作業をすることを心掛けています。市内での暮らしを理解している社員ばかりなので、産休も有給も取りやすく、雰囲気もアットホームで働きやすいですね。(吉澤さん)

仕事は、電話・ファックスなどによる発注受付、指示書作成、進捗管理、数量チェック、出荷管理などです。1か月に作る製品の

十日町市らしいアットホームな雰囲気でもやりがいを感じながら仕事をしています。

株式会社スタックスは、1953年設立、創業60周年を迎えた神奈川県に本社がある精密板金加工製造業の会社です。1966年、市内下条地区に事業所を開設。2011年冬、事業拡大と地元への貢献を考え、廃校となった旧六箇小学校の校舎と体育館を、市の企業設置奨励条例を活用して生産拠点として再生しました。現在では、県内外に取引先があり、神奈川県に本社があるものの仕事の90%以上は自ら開拓して出荷しています。十日町市の「モノづくり」をリードする企業としての期待を受け、全国・世界を相手にもっと成長していきたいです。

廃校になった小学校を再生し、事業拡大。90%以上の取引を自ら開拓しています。

学校だった頃の体育館が工場、教室が事務室になっています。

十日町らしい人を思いやる心を持っている仲間ばかりです。

ときには製造現場に向き、進捗状況や発注されたとおりに仕上がっているかチェックします。

産業振興・モノづくり
品質と信頼で業務を広げて
全国の市場で活躍するのが夢。

profile

吉澤 真弓さん (株)スタックス 十日町事業所 事務

市内鑑坂在住。前職はきもの会社。結婚出産後、十日町市のモノづくりに関わりたい思いで(株)スタックスへ入社。

profile

田中 恵子さん (株)スタックス 十日町事業所 CAD/CAMプログラマー

市内仁田在住。入社当初は事務職。1年くらい経ったとき上司に奨められてCAD/CAMプログラマーに。一からスタートして、ソフト会社のサポートセンターや派遣講師を利用して技術を学び、今や18年のベテラン社員です。

1	2
3	4
5	

1.雪深い十日町市でも冬場に不足する青物が生産できるのは先人の努力の賜物。2.ハウスの周りに地下水を流すことで融雪と保温をします。普段は雪が降ると降雪センサーが働いて自動的に水路に水が流れます。3.伝統野菜を守り続ける城之古青葉生産組合の皆さん。4.12月下旬から4月下旬まで栽培されていて、市内と近郊を中心に新潟県内に出荷されています。5.地産地消、食育の一環として、学校給食に城之古青葉を使ったメニューが取り入れられています。

城之古青葉

100年以上前から栽培されている十日町市の伝統野菜。甘みとほのかな苦みのハーモニーで愛され続けています。現在は、城之古青葉生産組合(13戸)でハウス栽培されています。特に3月から出荷される青葉は、つぼみがつくことで青葉の香りが高く一層甘さが増します。鮮やかな緑色で食卓を彩る、冬の貴重なビタミン源です。おひたし、一夜漬、サラダなどでおいしく食べられます。

学校給食

十日町市では、食育と地元食材の地産地消を推進するため、月1回「とおかまちメニューの日」を設けて、児童・生徒が農業生産・郷土料理など地域の食文化に対する関心を高め、食の安全・安心、望ましい食習慣に関する理解を深める取組みを実施しています。



Agricultural Promotion
Agricultural Promotion • Branding of traditional vegetables

Continue to conserve the traditions of agriculture, the legacy of our forebearers, for the future.

Tatenokoshi Aona (a type of spinach) is one of the traditional vegetables that has been grown in the snowy Tokamachi Tatenokoshi region since the Meiji Period. As the president of the Tatenokoshi Aona Growers' Association, Mr. Tsutomu Kobayashi has been working on improving the quality of Aona with the guidance and help of his seniors since 2013. He says "I want to work on further increasing consumption (the branding of Tatenokoshi Aona) and nurturing future successors of the program."

**【振興農業、伝統野菜ブランド化】
継承发扬祖先留下的农业传统，
传给下一代。**

十日町市城之古地区以多雪著称，“城之古青葉”是该地区从明治时期流传下来的传统蔬菜之一。小林勉(Kobayashi Tsutomu)从2013年起担任城之古青葉生産組合長。年齢虽然最小，但在前辈们的指导和协助下，积极带领大家开展提高青葉质量的工作。他说“今后的工作就是进一步扩大消费群体(城之古青葉的ブランド化)和培养年轻一代”。

さんの指導・協力ももらいながら青葉の品質向上に取り組んでいます。信濃川に近く雪深いこの地域で冬場のハウス栽培は大変ですが、先人たちが苦勞と工夫を重ねて今につながってくれました。豪雪や洪水、台風など幾多の災害を経て、ハウスも頑丈な造りになり、井戸水で雪を消す仕組みも定着しました。

組合員の何人かは、地元J.Aの土壤を研究する会、土(べ)の会で、土壤の改善に努め、安全でおいしい青葉づくりに役立っています。今後は、さらなる消費拡大(城之古青葉のブランド化)と後継者育成に努めていきたいですね。

私は、2012年から城之古青葉生産組合長として先輩の皆様

青葉のブランド化と若手後継者育成に尽力していきます。

「城之古青葉」は、雪深い市内城之古の地に明治時代から受け継がれてきた伝統野菜です。1911(明治44)年前後に、城之古の2人の高橋さんが太田島の上村さんから大崎菜の種子を分けてもらい栽培を始めたことが起源といわれています。当時雪に閉ざされた妻有の地で一番に収穫される生鮮野菜(青もの)は非常に珍重されたと伝えられていて、現在でも十日町市では、ホウレン草や小松菜と並んで地域を代表する葉物野菜として食卓に上っています。近年では、ハウス栽培により安定生産が可能になり、県内のスーパーや生協・コンビニをはじめ、地産地消に取り組む学校給食にも出荷しています。

profile

小林 勉さん

市内城之古在住。50歳のとき早期退職して就農、家業だった農業を一から教わりました。現在は、水稲1.6ヘクタールのほか、露地畑60アールで丸ナス「梵天丸」と夕顔、5棟のハウス(計8アール)で「城之古青葉」などを栽培しています。

雪深い冬の十日町市の食卓に旬の青葉を届けています。

農業の振興・伝統野菜のブランド化
先人たちがつなげてくれた
農の伝統を未来へと
守り続けます。

冬でも日が射すと汗ばもほどの暑さ。「城之古青葉」を栽培しているハウス内で、奥さんとともに。

雪の中で大切に育てた青葉をぜひ食べてください。

さらなるブランド化と後継者育成をしたいと思います。



1	2
3	4
5	6

1.稲作体験では、稲を刈ってはさぎ掛け(天日干し)をします。2.「道普請」。ボランティアの皆さんに手伝ってもらい、側溝の掃除をします。3.飲める湧き水で育てた棚田米「山清水米」の生産者、池谷の曾根さん。4.市内の高校生が主体となって企画し、中心市街地の商店街で開催した高校生まちなか文化祭。5.市民みんなでまちへの想いを語り合う「にぎわいSESSION」。6.「まちなかBBQ」。バーベキュー大会で、楽しみながらまちのことを語り合いました。

中心市街地活性化基本計画

市では「十日町市中心市街地活性化基本計画」を策定し、2013年6月28日、内閣総理大臣から認定を受けました。「市の顔」であり「抛り所」である中心市街地に活力を取り戻し、まちなかのにぎわいを、十日町市の元気へつなげていくために、市民・事業者・関係団体・行政などが今後概ね5年の間に取り組む事業を計画としてまとめたものです。基本理念は、「新たなにぎわい」に満ちた「魅力あるまち」の創造～「安心・快適・ときめき」のまちづくり～です。

NPO法人十日町市地域おこし実行委員会

2012年4月設立。現在会員数は70人を超え市外の会員も多い。地域内外の協力・協働で持続可能な循環型の社会モデルを目指し、100年持続する新しい村づくりを進めています。

NPO法人にぎわい

2012年8月設立。現在会員約40人。法律に基づく中心市街地整備推進機構として、市が指定していて、商工会議所と共に中心市街地活性化協議会の指定構成員として「持続可能なにぎわいづくり」に取り組んでいます。

Local Revitalization Community building・local development

We want the future Tokamachi City to have a lively city center and countryside.

Mr. Hiroshi Yamamoto is the representative director of the Tokamachi Local Development Executive Committee (non-profit organization). He is working hard day and night with a wish to “energize Japan with the power of the countryside” through the local revitalization of marginal villages with aging populations such as Ikedani and old Iriyama, and the national networking of local development.

Ms. Kozue Takizawa is the vice president of the non-profit organization Nigiwai (Tokamachi City Center Planning Organization). With her love of the city combined with her wish to “boost Tokamachi City from the city center”. She is engaged in various activities for revitalizing the city center, focusing on creating places and networks in which organizations and those involved in the revitalization can interact.

【开展城镇与乡村建设】 把未来的十日町市建成一座“城区”与“乡村”双繁荣的城市。

山本浩史 (Yamamoto Hiroshi) 是NPO法人十日町市地区振兴実行委员会的代表理事。他为了实现“发挥乡村力量，恢复日本活力”的理想，正在通过振兴和发展边远山村经济的全国网络，为恢复老龄化程度不断加剧的池谷村、入山村活力，夜以继日地勤奋工作。

滝泽梢 (Takizawa Kozue) 是NPO法人NIGIWAI (十日町市中心市街地整備推進机构) 的副理事长。她为了振兴中心市区经济，开展着各项工作。其中包括为“爱十日町市，想以振兴中心市区经济带动整个十日町市发展”的人和团体提供交流平台和渠道。



「まちなか」と「山間地」にベルトをかけて
面白いことをやりましょう。

山本さん 池谷集落は都会から若者が移り住んだことで限界集落から脱することができました。長く住んでいると当たり前になつてしましますが、移住者はここにしかない魅力を見つけてくれます。まちなかの人も山間地の良さをもっともっと知ってほしいですね。

滝沢さん そうですね。おいしくて新鮮なものを安心して食べられるって、素晴らしいことです。同時に地域活性化という同じ目的で設立した2つのNPO。この機会に「まちなか」と「山間地」にベルトをかけて、お互いに行き来しながら、十日町市を元気にするような取り組みを仕掛けていきましょう。

「まちなか」も
「山間地」も
「元気」に未来へ

まちづくり・地域づくり

NPO法人にぎわいの事務局もある、まちなかにぎわいステーション「まちなか」にて。



十日町市が好きな人、お祭りごとの好きな人、みんな集まれ!

池谷の湧き水だけで作った「山清水米」。おいしいですよ!

profile

滝沢 梢さん NPO法人にぎわい(十日町市中心市街地整備推進機構) 副理事長
市内本町2在住。大学卒業後Uターン。現在は、着物の手織り用品などを扱う店(家業)に勤めています。昔からイベントやお祭り、それらを企画することが好きで、「何か面白いことをしたい」「十日町市を盛り上げたい」という一心でNPOの立ち上げから参加しています。

profile

山本 浩史さん NPO法人十日町市地域おこし実行委員会 代表理事
市内旧入山出身。同中条太子堂在住。兼業農家として勤めてきた会社を2013年に退社。現在は、高齢化が進む池谷・旧入山集落の地域活性化と地域おこしのネットワーク化を通じて、「田舎パワーで日本を元気にしたい」と日夜奮闘中です。

地元を愛する心は同じ。
十日町市を盛り上げる、まちなかと山間地のNPO。

山本さん 池谷・旧入山集落では、中越大地震以来、都会の人との協働で、ムラづくりをしてきました。復興が進むにつれて、ボランティアとして支援してもらった内容も、復興から、農作業や地域おこしに移ってきました。日本の食料自給率や環境を担う山間地の問題は、山間地だけでなく日本全体の問題でもあると捉えて、共に問題を解決するためさまざまな取り組みをしています。

滝沢さん NPO法人にぎわいは、市から中心市街地整備推進機構の指定を受けました。「十日町市が好きで市全体をまちなかから盛り上げたい」と立ち上がった人や団体が、「集まり、話し合い、交流を重ね、情報や思いを共有して協力し合える」場とネットワークを作ること、それぞれの活動をつなぎ、お互いに活性化していくという「まちなか盛り上げ隊」的な組織です。「にぎわいSESSION」や「まちなかBBQ」などの交流会「とおか市」や高校生による「まちなか文化祭」などのイベントを行い、若者を中心に交流と活気が生まれてきています。



雪下人参のジュース

とても甘味の強い地産の「雪下人参」を使っているの、子どもでも飲みやすく人気があります。ソースやドレッシングなどの調味料にもアレンジできます。



しんこ餅

上新粉(米粉)で出来たお餅の中に、甘さを抑えたこしあんが入った小判型の餅菓子です。松之山地域では昔から作られています。



魚沼産コシヒカリ

日本一の名声を誇る魚沼産コシヒカリ。その産地である十日町市は、信濃川が形成した肥沃な土地と、コシヒカリを育てるのに欠かせない気候風土とが一体となり、おいしいお米を作り出しています。



もち

抜群のコシとつるつとした舌触りが自慢。きれいな水と豊かな土壌で手塩にかけて育てられた「こがねもち(もち米)」がおいしさの秘訣です。



妻有ざるうどん

素朴で温かい人情豊かな雪国で育まれた味わい。小麦粉のほのかに甘い香りと口当たりのよい食感が自慢です。良質の小麦粉をブレンドして強いコシにこだわって作っています。



しょう油の実

大豆を炒り薄皮をむき半割になった大豆を鍋でじっくりと煮込み、米糀と塩を加えて発酵熟成させたもの。炒った大豆の香ばしさと旨み、こうじの甘さ、絶妙な塩加減で食が進みます。



日本酒

米作りに適した土地で作られた酒米と清浄な地下水に伝統の技術が加わり、高品質な地酒が醸し出されます。全国の鑑評会で幾度も金賞の栄冠に輝く2つの酒蔵は、昔ながらの技を伝え地元から愛されています。



そば

織物の糸のり付けに使われていた「布海苔」という海藻をつなぎに使ったそばは独特の歯ごたえとコシがあります。そのそばを「へぎ」と呼ばれる容器に一口ずつ美しく「手繰り」で盛りつけます。



おからの焼きかりんとう

地産産の大豆から作られた「おから」を使用した、ノンフライのヘルシーな焼きかりんとう。ごまがたっぷり入った、香ばしくて素朴で優しい味わいが人気。



つぼんこ

こくのある黄身餡に1粒丸ごとの柔栗をくるみ、折りパイで包んだ可愛らしいお菓子。折りパイの食感と中の黄身餡の優しい口どけが絶妙です。



笹団子

新潟のおみやげといえば笹団子。中でも、昔ながらの製法でこだわりの素材を使用した十日町市の笹団子は、コシがあってももちです。



十日町市の名物コレクション13

Made in TOKAMACHI 13

ふるさとの香りがする名物が勢揃い!

自信を持ってお薦めできる名物を十日町市民の投票によって決める「名物認証制度」に取り組み、2013年4月に十日町市の新たな名物として10品を認定しました。1,000票を超える投票で推薦された中から上位15品を選定。さらに首都圏在住で情報発信力のある女性サポーター100人に試食品を提供し、評価をしてもらいました。その結果選ばれた10品に昔からの名物3品(魚沼産コシヒカリ、日本酒、そば)を加えた13品を十日町市の名物に認定しました。



あんぼ

米粉の生地で大根菜やあんを包んで蒸し上げた郷土料理。地元で伝わるどこか懐かしい味わいです。米粉人気の高まりとともに注目を集めています。



そばいなり

十日町産のそばと薬味ネギを、甘じょっぱく煮た油揚げの中に詰め込んだもの。手で持って食べられる手軽さとシンプルさが特徴です。





■学童保育・放課後児童クラブ／小学校低学年で学校の放課後、家庭に保護者がいない児童を預かる施設です。各地域への増設を進めています。



■子どもの医療費助成／2013年4月から子どもの医療費助成の対象が拡大され、入院・通院ともに出生の日から18歳に達する年度の3月末日までとなりました。



■子育て支援／十日町市では、各地域の子育て支援センターや発達支援センターを中心に、子育て世代の支援に取り組んでいます。



■福祉施設整備／市内天水越の「高齢者憩いの家」は、松之山温泉を引き込んだ入浴場・交流室・冬期共同住宅からなる、高齢者が健康で、元気に安心して暮らしながら楽しく交流することを目的に2013年に設置されました。

保育サービス・子育て支援の充実

子ども医療費の助成拡充を行い、2013年度から18歳までが支援対象になり、県内でもトップクラスの支援となりました。また、保育サービスの充実に努めながら、公立保育園の統廃合計画を推進しています。加えて、発達支援センターや放課後児童クラブの設置運営など、子育て世代のニーズに応えた支援体制を整備しています。

子どもたちを育む教育環境の充実

小・中学校の耐震化率が81.6%（2013年度末）になるなど、国の支



[子育て支援・健康・福祉対策]

人と人の絆の大切さを心に刻んで

子育て世代への支援、高齢者・障がい者への支援、教育環境の整備を通して、誰もが日々の生活を生き生きと過ごすことができる「人にやさしいまちづくり」に取り組んでいます。

Health, Welfare, Childcare Support
People-friendly community development
We are pursuing a variety of initiatives as we value the ties between people.

We are engaged in "developing a people-friendly community", where anyone can live life vibrantly through providing support for the child-rearing generation, the elderly, and handicapped people, and also improving the educational environment.

建設人性化城市
在市政建设中，注重人与人之间的纽带。
通过支援育儿家庭、老年人、残障人员，完善教育环境，创建无论任何人都能愉快生活的“人性化城市”。

地域で支え合う障がい者福祉
障がいのある人の自立と社会進出をより進めたい。ワークセンターなごみなどの就労支援や関連施設の整備を進めています。やがては、地域全体で支え合いができるまちになることを目指します。

高齢者福祉サービスと各種施設の充実を推進

お年寄りが元気で安心して暮らし続けるために、川治地区や吉田地区への介

一人ひとりと向き合って
その人ができることを
一緒に探します。



Name 鈴木 千春さん
Job ワークセンターなごみ (指定障がい福祉サービス事業所) 職業指導員
Profile 市内新座在住。食品関係、特にお菓子づくりに興味があり、長年勤めた会社を辞めて現職に。地域で一般企業などに就職を希望する人や訓練しながらワークセンターで継続的に働こうとする人を支援しています。

ワークセンターなごみは、就労支援に特化した事業所。一般就労への移行を支援すること(就労移行支援事業)、働く場を提供すること(就労継続支援事業・B型)を目的にしています。ここで作っているのは、地産地消、安全安心、素朴さをコンセプトにしたお菓子。十日町産の大豆を使用した豆菓子3種、おからの焼きかりんとう7種、地元の素材を使ったクッキーや饅頭などを皆さんと一緒に作って販売しています。一人ひとり障がいの程度が違いますので、話し合いながら「できることできないこと」を見極めていきます。ここで訓練しながら働いていた人が、一般企業へ就職が決まったり、できることが増えたりすると、本当にうれしいですね。



「おからの焼きかりんとう」が、大地の芸術祭のリデザインプロジェクト「Rooots」とタイアップしてヒット商品になりました。さらに、味の良さに加えておしゃれなパッケージとおからを使っている点が評価されて、2010年厚生労働省「至福のお届け」の最優秀賞を受賞しました。

材料を練り上げる機械が回るとおいしい香りが作業場に広がります。



■十日町雪まつり(毎年2月第3金・土・日曜日)／世界最大級の雪像ステージのショー「雪上カーニバル」ほか、雪のアートや市民主体の心温まる各ひろばなど盛りだくさん。



■当間高原リゾート・ベルナティオ／市内当間高原にあるホテルおよびゴルフ場などを含む総合リゾート施設。「ベルナティオ」はイタリア語「Bel Paese Natio= 美しくふるさと」を読みやすくした言葉。



■雪見御膳ツアー／「越後妻有雪火花」に合わせて開催。地元集落のお座敷や集落センターなどで、越後妻有の郷土料理をお膳で楽しむ雪国満喫ツアー。

■信濃川ラフティング体験／十日町市の南北を流れる日本一長い川・信濃川を舞台にラフティングを楽しむツアーを開催しています。



■グリーンライナー(緑の直行便)／市が運行している東京・埼玉⇄十日町間をつなぐ無料直通バス。農業体験や田舎体験、ボランティア活動などを目的として十日町市へ来訪するときに利用できます。

「大地の芸術祭の里」ブランドをさらに拡大
十日町市では、世界最大級の現代アートの祭典「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ」を、2000年から3年に1度、隣町の津南町と共に開催しています。自然や食、人々の魅力など地域のさまざまな価値を、現代アートを媒体として掘り起こし、魅力を高め、世界に発信することで地域再生を目指す取り組みです。会期外でも「大地の芸術祭の里」ブランドは浸透してきていて、この築き上げられたブランドをさらに拡大させて地域の活性化に結び付けていきます。

とおかまち流 まちづくり 2
活力ある元気なまちづくり

【観光・交流】

怒涛の人の流れを生む交流都市を目指して

大地の芸術祭や冬のイベントをはじめとする個性的な催し、温泉や棚田、豊かな食など観光資源が豊富な十日町市。近年、農業や自然を満喫する体験型観光も人気が高まっています。スポーツや文化事業、ボランティア活動などを含めた総合的な観光・交流事業を通して、「怒涛の人の流れ」を生む交流都市を目指しています。

Tourism
Developing a city with vitality and energy.
We are pursuing various initiatives in an aim to be a city of exchange that creates a "continuous flow of people".

Tokamachi City is rich in resources for tourism with unique events, including the ECHIGO TSUMARI ART TRIENNALE and winter events, hot springs, terraced rice paddies, and abundant food culture. Experience-based tourism for enjoying agriculture and nature has been gaining popularity in recent years. We are aiming to be a tourist city that creates a "continuous flow of people" through comprehensive tourism and exchange programs that include sports and cultural programs, and volunteer activities.

建设充满活力的城市。举办各种特色活动，把十日町市建成一座“人流如潮”的交流城市。

十日町市除了举办以大地艺术节和冬季文娱活动为代表的特色文化活动外，还拥有温泉、梯田和各色食材等丰富的旅游资源。除了观赏旅游景点之外，最近几年感受农业与自然之乐的体验型旅游也越来越受到游客们的欢迎。我们准备通过体育、文化事业、志愿者活动等综合性旅游和人的交流，把十日町市建成一座“人流如潮”的交流城市。

雪を友とし雪を楽しむ
ホワイトミュージアム
十日町雪まつりは、日本海側最大の冬のイベントとして知られています。豪雪に耐えるだけでなく、雪を楽しむことから冬の生活を変えていこうという発想から生まれた十日町雪まつりは、「現代雪まつり発祥の地」としての長い歴史が育んだ魅力にあふれています。ほかにも地域ごとに個性豊かな冬のイベントがあるほか、新たに「越後妻有・雪火花」を展開し、これら全てを「ホワイトミュージアム」として楽しむことができます。

豊富な地域資源を活用して魅力を発信
十日町市には、日本三大薬湯・松之山温泉をはじめとする趣ある温泉地、日本三大峡谷・清津峡や棚田が広がる山里の風景、各地域の伝統行事など地域資源が豊富にあります。これらを結びつけながら、田舎体験・自然体験などの「ゆっくりとした時間」を楽しむ交流事業を展開し、雪国観光圏など広域的な連携を深め、新たな人の流れを生み出していきます。



Name 池田 史子さん
Job 株式会社MPM 代表取締役
Profile 東京で株式会社ギフト・ラボというデザイン事務所を運営しながら、同社代表後藤寿和さんと共に、2012年の夏、まつだい駅のすぐ近くの街道沿いに、コミュニティカフェ&ドミトリー「山ノ家」をオープン。都市と地方、都会と田舎を、しなやかに行き来しながら、さまざまなコトや思いを共有し発信していくことを目指しています。

十日町市は大切なもう一つの地元。
ここで過ごすことで暮らしと心が豊かになりました。

縁あって、建築家のカール・ベックスさんが監修する「松代地域街並み景観再生事業」を知り、この地に「山ノ家」を作ろうと決意したのが2011年。松代の地域活性化のキーパーソン若井さんにお世話になりながら、東京の仲間や知人、松代の皆さんの力を借りて、2012年の夏にオープンしました。音楽やアートのイベントを開催する一方で、農業体験や手仕事のワークショップ、松代特産の食材を使った創作料理、旅人をお茶でおもてなしする「茶もっこ」の復活、かまくら体験など、松代ならではのものを取り入れています。都会とは別に田舎に一つ一つの地元を持ち、豊かな四季と自然の恵みを深く味わうことで、人・モノ・コト、そして思いが交り合い、新しい空間、新しい時間、新しいつながりが生まれています。ぜひ一度、のんびりゆっくり遊びに来てください。



■「山ノ家」／東京でアートやデザインの企画制作などの活動をしているメンバーたちが、松代のほくほく通りで2012年夏にスタートさせた「山」の拠点。朝ご飯からランチ、カフェタイム、夕ご飯まで、地元の食材をアレンジした飲食を提供する「移民たちのカフェ」と、1ベッド単位で宿泊ができるドミトリーが2階にある一軒家。ワークショップや田舎体験ツアーなどイベントも開催しています。

(写真左から)後藤さん、池田さん、「山ノ家」の立ち上げから現在まで惜しみなく協力し続けている地元の若井明夫さん。

■クロアチアピッチ(当間多目的グラウンド)／2002FIFAワールドカップでクロアチア代表チームが練習に使った国内最高水準の芝グラウンド。なでしこジャパン、J1チームの合宿や、なでしこリーグ公式戦にも使用され、高い評価を得ています。



■TOUR DE TSUMARI(ツールド妻有)／2006年の「大地の芸術祭」で、建築家・伊藤嘉朗さんによって企画・発案されたサイクリングイベント。美しい里山の風景や屋外の現代アートを楽しみながら自転車に乗るアート作品です。



■十日町市吉田クロスカントリー競技場／SAJ公認のクロスカントリー競技場。シーズン中は全国大会などが開催されています。2014年ソチ五輪に出場した市内出身の宮沢さん・小林さん・中島さんが子どもの頃に練習した競技場です。夏場も多目的広場(天然芝)として利用できます。



■桜花レスリング道場／桜花レスリング道場を合宿所として使用している女子レスリング日本代表選手たちが凱旋。手作りのメダルを渡し選手たちと記念撮影する桜花レスリングクラブの子どもたち。

豊かな人間性を育む
文化芸術の振興

いまや十日町市民の暮らしの中に溶け込んでいる「大地の芸術祭」を継続し、文化芸術意識の醸成を図ります。新市民文化ホールの建設により、音楽・舞台芸術・美術展などの鑑賞と発表の機会拡大にも努めていきます。また、地域の文化芸術活動を活性化するために、文化芸術団体の支援育成、文化芸術施設の充実を図っています。十日町市固有の自然や歴史、文化財を市民の誇りとして保護・活用するとともに、広く情報発信して地域の活性化につなげます。国宝・火焰型土器を中核にした火

とおかまち流
まちづくり2

活力ある元気なまちづくり

【文化・スポーツ】

文化とスポーツで 全国へ世界へ 発信

国宝・火焰型土器を活用して、全国・海外への文化発信に取り組むなど、文化芸術の薫るまちづくりを一層推進します。市民が健康・体力づくりに積極的に参加できるよう、またスポーツを通じた誘客や交流を活性化していくために各種スポーツ施設を整備します。

Culture・Sports
Developing a city with vitality and energy.
Broadcasting throughout Japan and the world in the fields of culture and sports.

We are promoting the development of a city with a scent of art and culture by broadcasting our message of culture through the national treasure, flame-shaped earthenware. We are improving our facilities as the point of exchange through sports, so that our citizens can actively participate in fitness and create a base of sports for life.

**建设充满活力的城市。
通过文化与体育活动，向国内外宣传十日町市。**

发挥国宝・火焰型土器的知名度，通过各种方式向国内外宣传十日町市的悠久文化，进一步推进“充满艺术文化气息的城市建设”。完善体育设施，促进市民能够积极参与的健康与健体活动，把各种体育设施转变为群众强身健体和通过体育开展交流的基地。



■市民文化ホール／設計業務公募型プロポーザルにおいて提案のあった施設イメージです。この内容を基に、市民の皆さんとの意見交換を行いながら、利用ニーズに合わせた基本設計を行います。(写真はイメージです)

の整備、信濃川火焰街道連携協議会(縄文サミット)での広域観光の推進に取り組んでいます。

心と体をつくる
スポーツの推進

「見るスポーツ」、「するスポーツ」、「支えるスポーツ」の推進と市民の啓発を図るために、豊かな自然と美しい景観を生かし、スポーツを通じた交流人口の拡大とプロチームのキャンプをはじめ、さまざまなスポーツイベントの誘致に取り組んでいます。スポーツ活動やスポーツ交流の拠点とすべく、吉田クロスカントリー競技場が国際スキー連盟(FIS)の公認を得るための取組みをはじめ、クロアチアピッチ当間多目的グラウンドの整備など、各地域の体育施設の整備・改修を進めています。

Name 椎野 慎祐さん

Job 桜花レスリングクラブ 指導員

Profile 新潟県三条市出身。全日本大学選手権第3位、SC福井大会マスターズ優勝の経歴を持つ。市内北新田在住で市内の福祉施設職員として多忙な毎日を送りながら、2004年5月から市内六箇にあるジュニアレスリング教室で、子どもたちにレスリングを教えています。

高校・大学では、オリンピックを目指してレスリングをやっていました。現在は、縁あって市内で介護の仕事しながら子どもたちにレスリングを教えています。「市内にはメダリストを輩出している合宿所がある。子どもたちがレスリングに触れる機会を作りたい」という地元のレスリング後援会の皆さんの熱い思いから生まれたクラブです。日本代表の皆さんとの交流や合同練習、大会での勝利などを経験して、みんなモチベーションが上がってますね。技術や体力はもちろんですが、何より向上心と攻める気持ちを身に付けてもらうことを第一に考えています。

目指すはオリンピック!!
子どもたちと夢に向かおう!!
元気いっぱいがんばってます!!



仲間や保護者が見守る中、練習に集中する桜花レスリングクラブの子どもたちと熱血指導の椎野さん。

東京五輪を目指す椎野さんと桜花レスリングクラブの子どもたち。

■きものイベント／「きものまつり」や「きもの街のキルト展」など、きものに関連したイベントを毎年開催しています。また、市内には和文に触れることのできる体験施設や和装小物販売店が各所にあります。



■トオコン／2010年から毎年開催されている十日町市ビジネスコンテスト。首都圏、新潟県内の大学生が十日町市で行う新ビジネスプランを競うコンテストで、ここで選ばれた優秀なプランの事業化を市がバックアップするというものです。2013年の最優秀賞は、日本大学 グリーン☆バンドナチームの「ベジブリッジ～野菜は人を繋げる架け橋～」。農家の皆さんが愛情を込めて育てた野菜の「はねだし」に着目し、新たな価値を見出します。



■十日町産業フェスタ／メイドin十日町が大集合！市内企業のPRブースや地元B級グルメ、音楽&ダンスステージなど、十日町市の「職・織・食」を存分に楽しめるイベントです。

地域に活力を生む 経済政策を推進

企業誘致については、在京郷人会などの協力を得ながら、成長企業を紹介してもらうなど、チャンスの拡大に努めるとともに地元企業を支援するため、企業設置奨励条例で、企業の設備投資を促し雇用の創出を図っています。また、産官学連携推進事業としてビジネスコンテスト「トオコン」の開催や地元企業の技術力アップのための支援を行い、このほかにも新商品開発や新規ビジネスの創出、販路拡大への支援など、さまざまな事業を展開しています。さらに地域ブランドを構築するために、十日町ブ



[産業]

十日町市の ポテンシャルを 最大限生かして

産官学連携による新規ビジネスの創出、地場産業や商工団体の支援、交流都市とのネットワークの推進、シティプロモーションなど、地域に活力を生む経済政策に取り組んでいます。農林畜産業を他と差別化できる産業として捉え、意欲ある農業者の育成と多様な集落営農システムの確立、農産物のブランド化、6次産業化を強力に推進します。

Industry
Developing a city with vitality and energy.
Making efforts in industry revival by utilizing the potential of Tokamachi to maximum effect.

We are working on economic policies that generate vitality in the region, such as the creation of new businesses through industry-government-academia collaborations, support for local industries, commerce, and organisations, promotion of networks with cities we are interacting with, and city promotions. We are also promoting the nurturing of willing farmers and the establishment of a variety of community farming systems, branding of farm produce, and sixth sector industrialization, as we perceive the agriculture, forestry, and livestock industries as ones that can be differentiated.

**建设充满活力的城市。
最大限度发挥十日町市的潜力，大力振兴产业。**

通过产官学的紧密协作，创造新的商机，支援本地产业和工商团体，促进与交流都市之间的信息互动，提高城市的知名度，积极落实激发地区活力的经济政策。我们还要把农林畜牧业作为区别于其它地区的特色产业，培养有事业心和干劲儿的农业生产者，建立起多种乡村农业经营体系，大力推进农产品的品牌化和第六产业化。

ンドメニューの開発を目指す市民の自主活動を支援するほか、「全国きものサミット」や「染織の祭典・十日町フェア」、「十日町産業フェスタ」などのイベントを通じて地場産業の振興支援に努めています。これらを友好都市など交流都市のほか名産地連携など、他の自治体とも積極的に連携し、十日町市産品の情報を発信することで販路拡大に取り組んでいます。

新時代を生き抜く 活力ある 農林業のために

新規就農者への支援として農業実習に係る経費を助成するほか、県の農業機械や施設整備の補助に加え、市独自に30%の上乗せ補助を行い、就農直後の負担軽減を図るなど、担い手の育成に取り組んでいます。また、水田における園芸作物の栽培支援を行い、不作付け水田の拡大防止と、稲作と園芸作物との複合経営を推進しています。さらに、農産物のブランド化に取り組むほか、企業との連携を図りながら、消費拡大に向けた新商品開発、製造・販売体制の確立に取り組むことで6次産業化を進めています。林業については、地球環境保全の観点から環境共生基金を活用し、間伐材の利活用と森林の整備促進に取り組んでいます。



■魚沼産コシヒカリ／ブランド価値を高めるために、高品質・良食味・安全安心なお米を目指して、気候変動に左右されない安定した生産体制の確立を目指しています。

十日町市に来たくなる。
十日町市が好きになる。
そんな形を
目指しました。



Name 杉山 弘美さん

Job 道の駅クロスステンの社員
十日町カタログギフト提案者

Profile 広島県呉市出身。都会に慣れてふるさとを離れ東京農工大学に進学した杉山さん。2011年3月にカナダ・アメリカへ留学。到着して5日後に東日本大震災が発生。現地での経験から、「地域活性化」に興味を持つようになり、「十日町市カタログギフト」の企画につながりました。

「十日町市カタログギフト」は、十日町市の景観・風土・歴史と特産品・体験型商品を織り交ぜた、読んで旅するカタログギフトの冊子です。私が大学4年生のとき、トオコンseason3で最優秀賞を受賞したプランが形になりました。十日町市出身者、在住者をネットワーク化し、デザイン性が高い商品や、十日町市でしか作れない、体験できない十日町市の「いいもの」を揃えた「ふるさと密着型」のカタログギフトを制作し、ブランド化と低価格の2つの戦略で全国展開し、十日町市を全国ブレイクさせるというプラン内容。その後クロスステンの職員として事業化とカタログ製作を任せられ、2013年10月に発売となりました。半年間カタログ製作中に出会った数々の特産品、そして協力いただいた十日町市の皆さん。感動と感謝の連続で、ますます十日町市が好きになりました。

道の駅クロスステンの越後妻有おもみやげ館にて「十日町市カタログギフト」を手に。カタログは、クロスステンの店頭やホームページから購入できます。



■道路・河川整備／地域活性化につながる地域高規格道路の建設をはじめ、毎日の暮らしを支える生活道路や河川の整備に努めています。



■市道除雪無料化／2013年11月から、市内全域を対象に「生活道路協働除雪路線」を新設し、市道の機械除雪費用について地元負担を廃止し無料化しました。また、消雪パイプや流雪溝の整備も進めています。



■病院／新十日町病院の整備スケジュールに合わせて、病院利用者や周辺地域の利便性向上のため、病院周辺の道路整備、駐車場整備などに取り組んでいます。(写真はイメージです)



■防災訓練／各地域で災害を想定した防災訓練が行われています。十日町市では、自主防災組織が訓練を実施するときに、防火防災訓練災害補償、講師派遣、訓練用資機材の貸し出しなどの支援を行っています。

地域活性化につながる地域高規格道路の整備

十日町市では、国・県と十日町インターまでの整備促進の協議を進めるとともに、アクセス道となる高山水沢線の整備やインターチェンジ周辺の土地利用計画の策定に取り組み、上越魚沼地域振興快速道路の受け入れ体制を整えています。

多種多様な災害に迅速に対応するために

災害の大規模化や多種多様な災害に迅速に対応するため、消防本部の防災拠点機能を強化しました。消防救急無線のデジタル化や救急救命士の増員により、救急救命態勢の充実を図っています。また、災害情報



[生活・医療・環境]

みんなの笑顔を支えていくために

十日町市の宝である豊かな自然環境を保全しながら持続可能な循環型社会を目指します。また、豪雪地帯特有の課題を克服し、社会基盤の整備、防災体制の強化、医療体制の充実、中山間地域の活性化を推進することで、市民が安心して快適に暮らせる生活環境づくりに取り組んでいます。

Living・Healthcare・Environment
Developing a city that is safe and secure.

We are making various efforts to keep everyone smiling.

We are aiming to be a recycling-oriented society, while conserving the rich natural environment of Tokamachi City, which is the city's treasure. We are also making efforts in creating an environment in which our citizens can live comfortably with peace of mind by overcoming issues unique to a region with heavy snowfalls, improving our infrastructure, reinforcing our disaster prevention schemes, improving our healthcare system, and promoting the revitalization of our hilly and mountainous areas.

建设安全放心城市。为了让居民永葆笑容，开展各项城建工作。

在保护十日町市的珍贵资源—丰富的自然环境的同时，建设可持续发展的循环型社会，克服多雪地带所特有的各种难题，促进完善社会基础设施建设，强化防灾体系，健全医疗体系，振兴山区经济，创建居民能够舒心和生活放心的生活环境。



■住宅用太陽光発電システム設置費補助金制度／2010年度から住宅用太陽光発電システム設置費の補助を始めました。2012年度からは補助額を拡充し、全国トップクラスの助成で市民の自然エネルギー利用への取組みを支援しています。



■エコポイント／レジ袋を断ったり、クリーン作戦などの環境活動への参加に対し、十日町市独自のエコポイントを付与しています。このエコポイントは、トイレトーパーやバイオマスプラスチック製ごみ袋に交換できるほか、市内温泉施設でも利用できます。

Name 米澤 健一さん
Job 十日町市 地域おこし協力隊 (松之山 布川地区 担当)
Profile 埼玉県川口市出身。大学院のとき、農業政策の研究で十日町市を調査に訪れたのがきっかけで地域おこし協力隊に応募。特に学生とごきに出会った集落の人がみな温かかったため十日町市に惹かれたと話してくれました。

Name 小野 彩さん
Job 十日町市 地域おこし協力隊 (松之山 布川地区 担当)
Profile 青森県むつ市出身。大地の芸術祭で東京芸術大学出身の彫刻家岩間賢さんが手がけた坪野フィールドパーク「さとまつり」にダンスと音楽で参加していたことが、松之山との出会いでした。

■米澤さん／布川カフェは、布川地区のコミュニティカフェ。お茶のみ会や野外コンサートなどのイベント、都市住民との体験交流、お買い物代行ほか日常生活のサポートなど、小野さんと2人で担当しています。ここを拠点に、集落や世代、地域を越えて交流の輪を広げ、にぎわいを生み出すとともに、住民同士で支え合う仕組みづくりに取り組んでいます。

■小野さん／松之山地域でも山深い中尾という集落に、夫と息子と家族3人で空き家を借りて移り住んでいます。私は、音楽活動をしています。音楽や芸術だけでなく、農業や自然にも人を癒し元気になるパワーがあると思います。布川の皆さんとおしゃべりしたり音楽を楽しんだりしながら、この圧倒的な自然と向き合い、人との出会いを大切に、地域を元気に盛り上げていきます。



2013年7月に小野さんのミュージシャン仲間を招いて中尾神社で「夕涼ミニコンサート」を開きました。住民の人から「楽しかったよ」「またやってね」という声も。

布川地区の皆さんが気軽が集える場として2011年オープンしたコミュニティカフェ「布川カフェ」(旧布川保育所)で、お茶飲みが集まった皆さんと。布川カフェの運営は、いきいき里山協力隊(NPO法人松之山いきいき隊・十日町市地域おこし協力隊 布川地区担当)。



■職員知恵出し会議／重要度、緊急度、優先度の高い政策課題を、若手職員が集中的に検討し、斬新かつ柔軟な発想を市政に反映させ、予算の效果的、効率的な執行および組織の活性化につなげていくことを目指しています。



■地域自治活動／市内全域で13の地域自治組織が設立されています。それぞれの組織では、住民の皆さんの判断と責任の下で、地域固有の課題の解決に取り組んでいます。



■ひとサボ／市内に数多くある市民活動団体の横のつながりを強くし、ネットワークを広げることで公共を支える「協働のまちづくり」を実現しようと市民が立ち上げた市民活動ネットワークです。



■三省ハウス(廃校利用)／松之山小谷集落の丘の上に建つ築50年余の木造校舎(旧三省小学校)を改築した宿。かつて教室だった空間には80床のベッド(各16床、5教室)が並びます。集落のお母さんたちが作る越後松之山の家庭料理が自慢。

多様な主体が支え合う「協働のまちづくり」

今までは「公共＝行政」のイメージでした。しかし公共の複雑化・高度化が進んでいます。市民や地域、企業、NPOなど、多様な主体によって公共を支えていく仕組みが必要で、地域自治組織は十日町市の公共を担う代表格で、地域ごとに組織化されている振興会などを母体としながら、地域固有の課題の解決に取り組んでいます。市では「地域自治推進事業交付金」とおこまち応援寄附金により、その活動を後押ししています。

とおかまち流 4 まちづくりの実現のために

[行財政改革・協働のまちづくり]

すべては市民のために

「公共」とは、広く社会生活に関わり、個人の力では解決が難しいことがらを指します。今、この公共の領域が限りなく拡大しています。十日町市では、市民や地域、企業やNPOなどと共に公共を支え合う「協働のまちづくり」を進めています。

Administrative finance reforms and cooperative community development

For realizing the development of our city.

All of the administrative reforms of Tokamachi City are carried out for the benefit of the citizens.

"Public sector", refers to matters related to broad aspects of civil life, which are difficult for an individual to resolve. The spectrum of this public sector is expanding every day. In Tokamachi City, we are working to "build a city of cooperation" whereby the citizens, the community, businesses and non-profit organisations work together to support the public.

为落实城市建设。

十日町市的所有行財政改革，都是为了市民。

所谓的“公共”就是指广泛与社会生活相关，单靠个人力量难以解决的事业和职能等。现在，公共的领域正在无限的扩大。十日町市积极发挥居民、地区、企业以及NPO等组织的作用，汇集各方面的力量搞好公共事业，推进“城市共建”活动。

市民本位の組織へと市役所の改革を先行

市民との対話を欠かさずに、市民の求めに素早く的確に対応し、市民サービスが一段と向上するよう、市役所をより市民本位の組織へとさらに改革していきます。証明書自動交付機の利用促進を図るとともに、各支所には半自動で証明書を交付する窓口交付システムを導入。コンビニで市税などを納付できるメニューを拡大し、税や上下水道料金に加え、保育料や教育関係なども可能にし、利便性の向上を図っています。市役所本庁舎は2012年度で耐震補強工事が完了。2013年度には、市民が利用しやすい、人にやさしい庁舎を目指して、来庁舎の窓口である1階のリニューアル工事と、保健センターのエレベーター新設工事を行いました。

行財政改革を推進し最大の効果と効率を

事務・事業の効果を高め、電子市役所の推進で一層の効率化を進めながら、人件費などの行政コストを削減します。そして、限られた費用であっても職員が創意工夫と知恵の出し合いにより、最大の効果を生み出し、職員500人体制に対応できる組織にします。計画的に職員を削減する一方で、保健師や臨床心理士などの専門職を確保するとともに、若者の就職支援として事務支援員制度を導入するなど、市民サービスに支障を来さないように組織改革に取り組んでいます。また、市債の繰上償還や、土地開発公社への貸付金などを予算計上し、将来の経費負担も見据えた中で財源の捻出を図っています。

市民の皆さんが
もっと使いやすくて
楽しい図書館を
目指します。



Name 中嶋 裕美さん
Job 十日町情報館 図書館サービス係 主任
Profile 市内本屋敷在住。子どもの頃から本が好きで、大学で図書館司書の資格を取り、2006年から十日町情報館に勤務しています。

情報館は、図書館に加え、情報の受発信や広域的な住民の交流の機能も重視した施設として、1999年に開館しました。2012年度に指定管理者制度が導入され、市民によるNPO法人「らいぶフォーラム」が運営しています。それ以来、開館時間の拡大、テーマ展示やイベントの充実など、民間が運営する利点を最大限に生かして、より利用しやすく、楽しめる施設になりました。私は、カウンター業務、本の選定や管理、講座やイベントの企画も担当しています。調べもののお手伝いなどでもいます。探している本が情報館にないときは、県内外の図書館ネットワークで取り寄せることもできるので、お気軽に相談してください。

2013年公開の映画「図書館戦争」の舞台にもなった十日町情報館の館内にて。蔵書冊数約15万冊。本や資料に囲まれた大空間は圧巻です。

姉妹都市

イタリア コモ市

「絹」で結ばれた2つの都市
温かい交流の絆を次の世代へ

イタリア北部に位置するコモ市は、十日町市と同じく絹製品の産地としても名高く、それが縁で1975年2月27日に姉妹都市提携を締結しました。それ以来、「十日町・コモ姉妹都市交流協会」が主体となり、さまざまな交流事業を展開しています。2015年には姉妹都市提携40周年を迎え、交流は次の世代へと着実に受け継がれています。



■パイロットツアー(十日町市)／イタリア人観光客を誘致する新プロジェクトをスタートするにあたり、2013年8月、8人のコモ市民が十日町市に滞在し、日本での生活・文化・観光などを体験しました。

The city of Como in the north of Italy is, like Tokamachi City, famous for the production of silk products. As a result, the cities formed a sister-city affiliation on 27 February, 1975. Since then, the Tokamachi & Como Sister City Exchange Association has been developing various exchange programs. In 2015, the sister-city affiliation commemorated its 40th anniversary, and the exchange is steadily being passed on to the next generation.

位于意大利北部的科莫市与十日町市均以盛产丝绸制品而著称，两市以此为缘，于1975年2月27日签订了缔结姊妹城市的协议。由此以来，以“十日町科莫姊妹城市交流协会”为主体，开展了丰富多彩交流活动，2015年将迎来签署姊妹城市协议40周年，两市之间的友好交流将被下一代继承和发扬下去。

International Exchange of TOKAMACHI CITY

国際交流 of 十日町市

- ◎姉妹都市提携／イタリア コモ市
- ◎サッカー交流／クロアチア
- ◎日豪交流／オーストラリア

日豪交流

オーストラリア

大地の芸術祭で育まれた日豪交流のシンボルハウス
オーストラリア・ハウスは、大地の芸術祭を通して深めた十日町市とオーストラリアとの交流の結晶として2009年に誕生しました。その後、2011年の長野県北部地震により倒壊しましたが、オーストラリア大使館や豪日交流基金の支援により2012年の大地の芸術祭に再建され、豪日交流の架け橋としてさらに大きな期待が寄せられています。



洗練されたデザインの建築作品でもあるオーストラリア・ハウスは、2013年、オーストラリア建築家協会より「ヨーン・ウツソン国際建築賞」を受賞しました。

Australia House was created in 2009 as the embodiment of the exchange between Tokamachi City and Australia, which was deepened through the Art Festival of the Earth. Although it was destroyed in North Nagano Earthquake of 2011, it was reconstructed for the 2012 Art Festival of the Earth with support from the Embassy of Australia and Australia-Japan Foundation. There are great expectations for it as a bridge of exchange between Australia and Japan.

以大地艺术节为媒介，十日町市与澳大利亚之间的交流不断得到深化，其中于2009年建成的澳大利亚大厅是两国人民友好的结晶。该建筑物虽然在2011年发生的长野县北部地震中倒塌，但在澳大利亚大使馆和澳日交流基金的援助下，于2012年的大地艺术节中得到了再建。人们热切期待着通过这座澳日交流的桥梁，两国人民的友谊将取得更进一步的发展。

サッカー交流

クロアチア

世界水準のピッチが育んだ
クロアチアとのスポーツ交流

2002 FIFAワールドカップでクロアチア代表チームがキャンプを行った当間多目的グラウンドは「クロアチアピッチ」と名付けられています。2012年7月に完成したクラブハウスとともに「スポーツ交流」や「国際交流」の拠点として、多くの市民から愛されています。

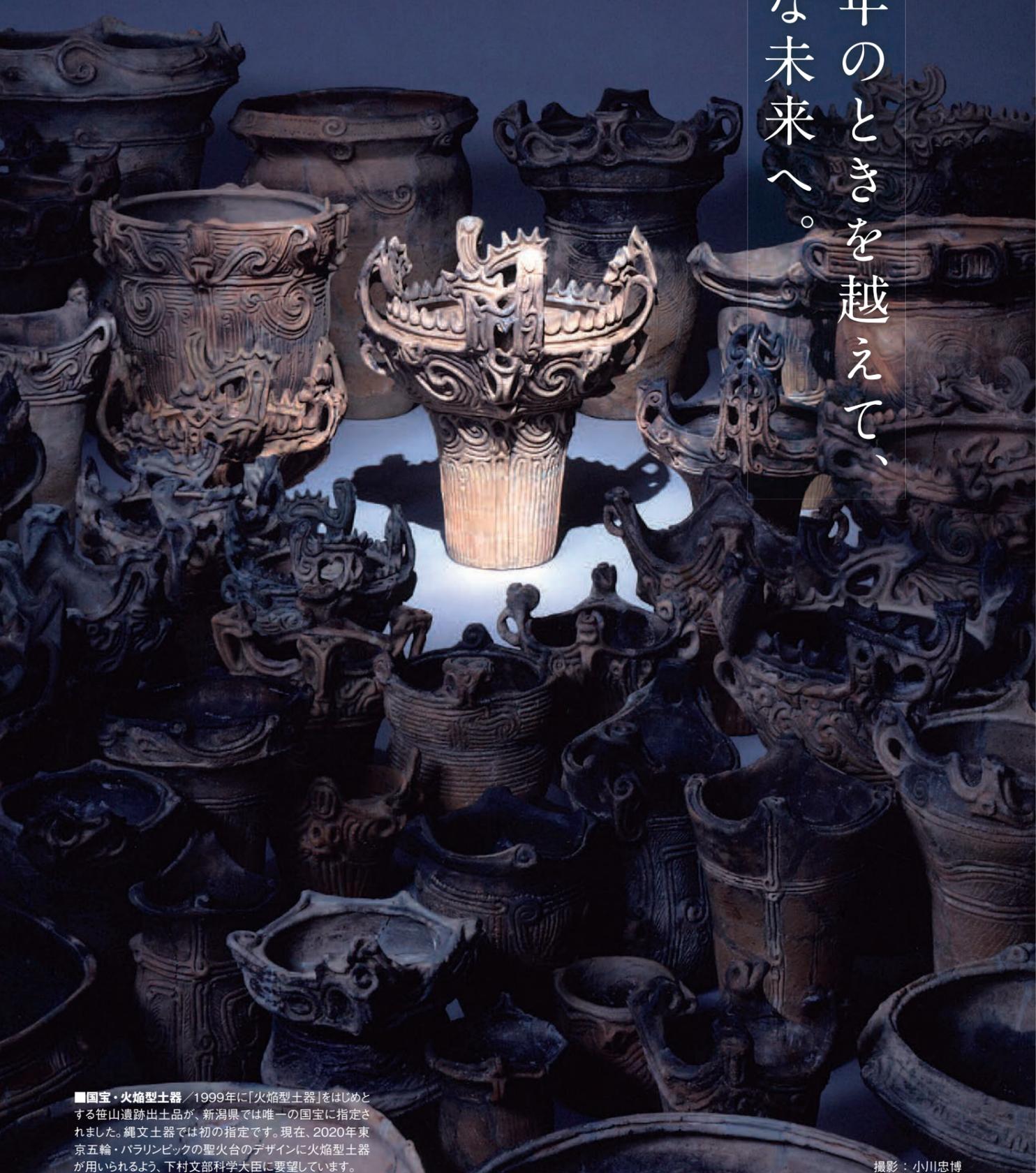
The grass pitch, where the Croatian team camped during the 2012 FIFA Japan-S. Korea World Cup, was named the Croatia Pitch. Along with the club house, which was completed in July, 2012, it is loved by many citizens as the base of sports exchange and international exchange in the city.

在举办2002FIFA日韩世界杯足球赛期间，克罗地亚队曾经过我市的足球场安营训练，该球场由此被命名为“克罗地亚足球场”，并与2012年7月建成的足球俱乐部会所一起，作为“体育交流”和“国际交流”基地，受到了广大市民的喜爱。



2012年7月、「ジャパン・クロアチア フレンドシップハウス」の竣工式。元駐日クロアチア共和国大使Dr. ドラゴ・シュタンブク閣下のご厚意により、クロアチアの建築家「P&Rアーキテツ」からデザインの無償提供を受けて建設しました。

五千年のときを越えて、
新たな未来へ。



■国宝・火焰型土器 / 1999年に「火焰型土器」をはじめとする笹山遺跡出土品が、新潟県では唯一の国宝に指定されました。縄文土器では初の指定です。現在、2020年東京五輪・パラリンピックの聖火台のデザインに火焰型土器が用いられるよう、下村文部科学大臣に要望しています。

撮影：小川忠博

◎発行／平成26年3月 新潟県十日町市

◎編集／企画政策課秘書広報係
〒948-8501 新潟県十日町市千歳町3-3

◎制作／サンタ・クリエイト

tel.025-757-3112 fax.025-752-4635
http://www.city.tokamachi.lg.jp/

[表紙] ■越後妻有 雪花火(大地の芸術祭の
里冬企画)／2014年3月1日、市内上野のナカゴ
グリーンパークにて開催。雪原に広がるLED約2
万個の花畑と夜空に咲くミュージック・スターマイ
ンが約2,500人の観客を魅了しました。



高橋匡太 [Gift for Frozen Village 2014]

TOKAMACHI
“Dreams come true”
～元気に未来へ～